

- 主催：公立大学図書館協議会中国四国地区協議会
- 時間：13:05-16:30（講演105分+ワークショップ90分 計3時間15分）
- 会場：愛媛大学図書館中央図書館 4階 視聴覚室（愛媛県松山市）

【講演】

広報力が図書館を変える —図書館員のためのPR実践講座—

仁上幸治（図書館サービス計画研究所 代表）



<目次>

第1部 講演

・はじめに

- 【1】名刺はブランディングの入口
- 【2】味方をつくる
- 【3】コンセプトからデザインへの展開
- 【4】先進事例
- 【5】現場に応用する8つの極意
- 【6】発想の転換
- 【7】味方づくり戦略
- 【8】結論

第2部 ワークショップ

- 【1】時間割

【2】作業要領

【3】資料共有

第3部 まとめ

- 【1】発表総括
- 【2】研修を考え直す
- 【3】結論

- 別紙1. 事前課題アンケート結果
- 付録1: 参考文献
- 付録2: 参考サイト
- 付録3: 講師紹介： 著書・論文・講演

- * 質疑応答
- * 仁上新刊のご案内
- * 参加者アンケート
- * おみやげ(ALAしおり)

■概要

図書館をめぐる社会環境は厳しい。図書館員の非専任化と外部委託化の拡大で専門職としてのプライドは崩壊寸前だ。日頃の研修や自己研鑽の努力に正当な社会的評価を得るには味方づくりの戦略が必要である。大学図書館職員の仕事甲斐を取り戻すヒントを情報リテラシー教育への直接貢献策の中を探る。

大学図書館での実務経験と司書課程教員としての次世代図書館員の教育経験をベースに、現職者が抱える悩みや寄り添いながら、逆風の中でも愉しみをもち続けてメゲずに前進していくための心構えを伝授し、苦境を打開する取り組みプランを提示してみる。

もともとどうしても図書館で働きたかったあなた、あるいは、たまたま図書館で働くことになったあなた、は大学内で何をしたいのかというホンネのレベルでの反省から出発するべきである。

その答えを探すひとつの有力な方法がブランディングである。図書館のミッションやポリシー、サービスのコンセプトなどを見直し、それを目に見える形で内外に提示するためのデザインングにつなげていくには、旧来の図書館界の伝統的な思考形態をいちど清算し、企画立案の枠組み自体を再構築する必要がある。

現状を見れば、実際、大学生の図書館顕在利用者層は20%程度しかいない。PULL型の「客寄せ・客引き」方策による効果だけで顕在利用者層の20%を90%以上に引き上げられると期待するのは幻想である。せいぜい30%に引き上げる程度と見込むのが現実的であろう。潜在利用者の発掘という目的に対して個別誘引PULL型の限界を知っておくべきである。

ブランディングの一方には、魅力的なコンテンツやイベントを多種多様に用意して、無関心層を惹きつける戦略がある。経営資源の逼迫状況でも、個別誘引PULL型の仕掛けは可能なかぎり徹底して実施するべきである。

そこで、ブランディングのもう一方には、学生たちが嫌でも図書館利用をせざるをえない状況を作っていく全員一網打尽PUSH型へ踏み込む戦略が必要不可欠となる。図書館のミッションの中核である教育支援サービスのうち、図書館利用率100%を実現する方法手段のキラーコンテンツとして、学生授業直結型のリザーブ図書制度こそが「本丸」なのである。

最後の壁は、図書館の、そして大学の組織体質である。各種の研修を受講し、自己研鑽に励んで、サービス改善の企画を立てて提案しても、組織が受け入れなければ、改善は期待できない。保守的組織の中での処世術・遊泳術のレベルでの知恵は、ほとんど役に立たない。多くの前向き図書館員が働き甲斐を喪失していくのも当然である。

成果を出す研修をめざして、研修のあり方自体を変える必要性を訴える。配付資料、ワークシート、スライド、アンケート結果等の研修資料を公開し、フォローアッププログラムを用意し(取り組み計画書、成果と課題)、1年後に成果発表会を実施することをお勧めする。

さらに、成果発表内容を整理して使えるツール化し、共有する仕組みを活用する。公的な情報交換機会とは別に、非公式・個人・自由参加の地域メーリングリストを作り、情報交換や相互扶助に活用し、交流会・懇親会を開く。その上に自発的な勉強会・研究会(同業種・異業種)の活発化が期待できる。半年後、1年後の成果を楽しみにしたい。

■1. 講演内容

はじめに

●自己紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ)

図書館サービス計画研究所(トサケン)代表

元・帝京大学 総合教育センター 准教授

元・早稲田大学図書館司書

非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学、和光大学、玉川大学)

クサガメを室内放し飼い

クサガメ

名前はワカメ

爬虫類＝下等動物？

寝てばかり？

鈍足？

固定観念

動画

ツカミに効く

授業に使える

図書館利用教育にも

仕事に使える動画術

成功例に学ぶ YouTube 活用とオリジナル動画作成法

家子史穂 著 千崎達也 著 発売日:2015年07月13日

ISBN:9784798141640 定価:本体1,800円+税

仕様:B5・160ページ 分類:PC書その他

<https://www.shoehisha.co.jp/book/detail/9784798141640>

あらゆるビジネスで使える！伝わる動画の使い方&作り方！

1人でできる！3日で完成！事例で学ぶ1分間PR動画ラクラク作成ハンドブック

渡川 修一/小西 イサオ【著】 価格 ¥2,160(本体¥2,000)

ペンコム(2016/06 発売)

サイズ B5判/ページ数 207p/高さ 26cm

NDC 分類 674

https://pencom.co.jp/wp-content/uploads/2016/06/01_download.png

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784844377290>

そこへある日…

名前はもうある。

サラ

箱の中からちよっかい

亀と猫

平和共存？

課題解決の道は…

教訓を図書館業界に当てはめると

長い天下泰平の時代

黒船来襲

どうする？！

今日のキーワード

“外”

お願い

一回性のライブ

スライド内容は後日ファイル配付

ノート不要

感想・質問用のメモ OK

プロジェクター、照明、マイクボリューム、エアコンなど受講環境についての要望は随時

◎社会貢献活動

立川市施設指定管理者候補者選定審査会図書館専門委員(2012-14)

世田谷区梅丘図書館新館構想策定委員会委員(2015-16)

世田谷区新中央図書館新館構想策定委員会委員(2016-)

●過去の講演(四国)

1) 2008.12.21-国立教育政策研究所 FD 実践研修「図書館利用教育の普及をめざす広報戦略-協力者・推進者を増やすための実践的教訓-」愛媛大学(愛媛県松山市) 主催者、佐藤浩章先生(当時、愛媛大学、現大阪大学)

2) 2011.02.18-香川県図書館協会・香川県立図書館/香川県図書館職員研修会(専門研修) 図書館職員サービス講座「パスファインダー超簡単講座-新しい案内ツールをどう作るか-」香川産業頭脳化センタービル 専門研修室(高松市)

3) 2016.09.09(金)-徳島県公共図書館協議会研修会「図書館員のための PR 実践講座-逆風の中で味方を増やすコツ-」(講義と実習)徳島県立図書館(徳島県徳島市)

4) 2016.10.07(金)-公立大学図書館協議会中国四国地区協議会研修会「広報力が図書館を変える-図書館員のための PR 実践講座-」愛媛大学図書館中央図書館 4階 視聴覚室(愛媛県松山市)

四国の仁上講演空白県

高知県

ちなみに九州では

宮崎県(中学・高校1年在学)

本日、講演通算 224 本目

公立大学協会図書館協議会

<http://www.japul.org/>

研修会

ホームページを見た印象

研修記録は報告書として刊行・ウェブ公開

講演録・配付資料・スライド

アーカイブは2006年度まで。

それ以前は?

参加者アンケート結果は?

フォローアッププログラムは?

研修記録はどこに?

研修記録をアーカイブ公開している研修の事例

2014.09.11-12-私立大学図書館協会 東海地区協議会 実務担当者研修会「指導場面での演出力はこれでいいか - 教える側の情報リテラシーを問い直す-」名古屋学院大学 名古屋キャンパス白鳥学舎(名古屋市) [要項] [報告]

<http://www.jaspul.org/w-kyogikai/tokai/collegium/cat1/2014/>

<http://www.jaspul.org/w-kyogikai/tokai/collegium/-c13-ospresenpptx.html>

参加者アンケート結果

事後課題成果

・2012.12.14-播但図書館連絡協議会研究集会「パスファインダー超簡単講座-新しい案内ツールをどう作るか-」姫路市立城内図書館 2階 大会議室(兵庫県姫路市)

<http://www.bantanlib.jp/index.php?CA%BF%0AE%A3%B2%A3%B4%77%AF%5D9%9C7%5C3%A2%BF%DE%BD%F1%B4%DB%CF%A2%CD%ED%B6%A8%B5%4%B2%F1%B8%A6%B5%66%BD%B8%B2%F1>

非保存・非公開という悪弊

研修成果は出ているか?

PDCA サイクルを守っているか?

PDCA サイクル

Plan

Do

Check

Action

研修記録をアーカイブしているか?

保存

公開

共有

活用

文部科学省図書館地区別研修 2015・2016

北日本地区 ×

関東甲信越静地区 ◎(自主実施)

近畿地区 ?

その他の地区 ?

やりっぱなし研修

●公立大学図書館協議会中国四国地区協議会研修会(松山)-事前課題アンケート

<http://goo.gl/forms/nb6HL75vG7pwTbfx1>

回答数 23 名

出席者 25 名

回答率=23/25=92%

館長 1 職員(専任)13 職員(非正規)8 委託スタッフ 1

課題論文

仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化しているか? - 説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践 -」

『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24.CA1728:

[全文]HTML 版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>

PDF 版: <http://current.ndl.go.jp/files/ca/ca1728.pdf>

→■別紙1. 事前課題アンケート結果

記述

欲ばり!

今日全部は無理

他の研修で

●大学の教育支援・学習支援

・2015.11.27-HALU 北海道大学図書館職員研修「授業支援の「本丸」攻めに向けて-リザーブ図書制度の本格実施を-」北海道大学図書館(北海道札幌市)(テーマ「これからの授業支援の話をしよう」)[案内] [報告] [参加者アンケート結果]

・2016.09.17(土)-MULU(みちのく図書館員連合)茶話会「アクティブ・ラーニングの鍵はリザーブ図書制度にあり-図書館による授業=学習支援の「本丸」を攻める-」東北大学附属図書館 グローバル学習室

●デザイン力向上ワークショップ

・2016.08.04(木)-06(土)[二泊三日]-図書館サービス計画研究所主催「図書館デザインングフェスタ」山中湖情報創造館(山梨県)

★14名参加、大盛会終了。来年度企画進行中！
<https://www.facebook.com/events/1258845370809889/>

感想

ものすごかった！数々の学びがあり、しかもそれは全て体験型なので、自分の血肉となった。こんな研修があるだろうか？本当に、この体験は私を変えたと思う。そして、自分でもこういうのやってみたい、と思ってしまった。(北村志麻)
<https://www.facebook.com/profile.php?id=10000294580479>

お悩み

なぜ低い？

認知度
利用率
親組織内の重要度
スタッフの労働条件

どうすればいいのか？

自信がない

パソコンスキル
専門知識技能
アイデア
提案力
交渉力
政治力
気力
体力

PRの視点からの解決策

PR以前の最近気になること

PR以前の問題
デザイン
表現・言葉づかい
用語・名称

(1)デザイン

機関誌

『図書館雑誌』表示リニューアル

2016年4月号 編集手帳より
今月号からは、国内外のさまざまなデジタルアーカイブから探してきた画像を掲載します。今回の表紙は、「お宝紹介」のコーナーで執筆して下さった富山県立図書館の『本草通証図』からの画像です。
今回のリニューアルにあたっては すっきりとして、画像が目を引きようなデザインを意識しました。協会員をつなぎとめるだけでなく、あわよくば、偶然表紙を目にした図書館関係者以外の方が図書館に興味をもってくれたら…。

背景カブリ
文字カブリ

印刷物の専門知識

疑問
(+o+)

Twitter 開始

JAL
JLA
なぜ青、黒、白？

イメージ戦略

不明

(+o+)

ロゴマークは全アイテム共通に

(2)表現・言葉づかい

構文解析

図書館のサービスおよび図書館員への資質向上とサービス改善のための活動をしています。

【(図書館のサービス改善)

+
(図書館員の資質向上)】
のための
活動を
しています。

×現状

図書館のサービスおよび図書館員への資質向上とサービス改善のための活動をしています。

◎改善

図書館のサービス改善と図書館員の資質向上のために活動しています。

小さな1行、大きな印象

良くも悪くも

(3)用語問題

返却日
貸出期限票？
図書館グッズ
禁帯出

言葉を大切に

返却日

守り抜く。本の返却日を。

キハラ

<https://twitter.com/kiharalib>

<http://www.kihara-lib.co.jp/news/libwar2.htm>

返却日とは

返す日？
返却された日？
返却処理した日？
返却しなければならない最終日◎
>>返却期限日

貸出期限票

?
どこがへん？
主語のねじれ
貸出 かりるところ
返却 かえすところ

禁帯出

新宿区立図書館

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/library/index.html>

OPAC

<https://www.library.shinjuku.tokyo.jp/opac/cgi-bin/index?0>

表記は重要

表記の揺れ
貸出
貸し出し
貸出し

案内・指導力
不安
(+o+)

【1】名刺はブランディングの入口

名刺を持ち歩いていないか？
自分をどうやって覚えてもらうのか？
メールをもらうには？

名刺コレクション

正統派古典型
図書画像型
ロゴマーク揺れ型
・国立国会図書館
レイアウトが微妙に揺れる型
・東京都立中央図書館
記載要素揺れ型
・QRコード
・ロゴマーク
・URL
・姓名ふりがな
・住所・電話・アドレス(位置も揺れる)

・石川県立図書館
統一テンプレート型
肩書き・要素・色は統一
姓名のアルファベット表記は微妙
横型と縦型が混在
別型バリエーションあり
・鳥取県立図書館
独自装飾型
・岡山県立図書館
書体の揺れ型
・神奈川県立図書館
各自デザイン自由型
・沖縄県立図書館
ふりがな有無型
・福井県立図書館
故郷自慢画像型
・新潟県立図書館
・三重県立図書館
・調布市立中央図書館
自分ブランディング型
・空手家図書館員
・泳ぐ図書館の司書

名刺デザインのポイント

どこかダメか？
同じ組織なのに印象がバラバラ
正統派古典型イメージは陳腐
図書画像は古典イメージを強化
デザイン不統一は政策不在の象徴
ロゴマーク揺れ

レイアウト揺れ

不統一の原因

現物見本を参考にするだけ
確実に不統一化
共通テンプレートがないのが致命的

姓名英語表記の3類型

鈴木 一朗
Ichro Suzuki
Ichro SUZUKI
SUZUKI Ichro
SUZUKI, Ichro

なぜ共通テンプレートを使わないのか？

改善点

記載要素の固定

マーク、シンボル
QRコード
ロゴマーク
メールアドレス
ホームページ URL
姓名
姓名ふりがな
所属機関・部署
肩書
住所・電話・アドレス

レイアウトの固定

横型に統一
位置
大きさ
書体
カラー

統一とバリエーション

テンプレートは必須
バリエーションには計画性
故郷画像は季節変更もあり
自分ブランディング推奨

【2】味方をつくる

印象づけ

印象の総和
評価

図書館と図書館員のイメージ問題

図書館ブランディングの出発点

×ゼロ

▲マイナス

偽装の夫婦

日本テレビ 2015.10-

人が苦手

現場の実態

ステレオタイプ

?

テレビドラマの中のステレオタイプ

どういう人物像か?
なぜそういう設定か?
事実か誤解か?

図書館員のイメージ

自己イメージ 社会的イメージ
真面目 > 親しみにくい
堅実 > 融通が利かない
博識 > 理屈っぽい
専門職 > 単純定型作業 (-"-)

世間の人々は図書館員を専門家とは認めていない(?)

図書館員という職業

『ミラクルたのしい! ハッピーお仕事ずかん』1,026 円 サイ
ズ: B6判 384 ページ/ISBNコード: 9784791618750
http://www.seitosh.co.jp/245_3641.html
女の子が「なりたい!」と思う憧れの職業 223 種について、か
わいいイラストで解説。楽しいところは? たいへんなところ
は? なる方法は? お給料は? などの疑問にお答えします。

「図書館司書」の項目なし。
「学芸員(キュレーター)」はあり。(-"-)

味方を増やせる専門家のイメージは?

伝えたい自分イメージ

- 1) プランナー
- 2) コーディネーター
- 3) プロデューサー
- 4) インストラクター
- 5) クリエイター
- 6) ファンリテーター

映像研究は重要

CM 阿川佐和子 参天製菓の目薬のテレビCM
国際教養大学図書館

10) 2015.06.09-KLL(関西ライブラリアンリンク)企画]
仁上幸治さんと語る交流会「映像の中のトンデモ図書館員
たちー図書館ブランディング講座番外編ー」『図書館員のた
めの PR 実践講座』増刷記念講演会+交流会 Biz Library
(ビズライブラリー)(大阪駅前)

図書館員の味方

味方はどこに?
同僚
上司
館長
親組織
利用者

同僚

「外」系図書館員
閲覧・レファレンス部門
つながる大好き系

「内」系図書館員
目録・管理部門
つながり嫌い系

「外」系への批判

本務を疎かに
外に出たがる
イベントごと大好き
休暇宣言
来客おもてなし隊
休日も図書館めぐり

上司

面倒嫌い
新規事業嫌い
交渉事嫌い
前例主義

館長

名誉職
親組織の天下りポスト
定年直前
事なかれ主義
公募!

親組織から見た図書館

収入を生まない
生死に関わらない
お荷物
合理化対象
全面外部委託

親組織から見た図書館員

奇人集団
妙なプライド
組織行動苦手
心身変調職員の受け皿

利用者

常連固定客
馴れ合い

非利用者

図書館評価
知らない
役立たない
嫌い
行かない

内部改革者

ムラ社会の異端者排除
改革推進の抑圧
図書館訓
出る杭は熱いうちに打たれる!

敵だらけ?

避ける
減らす
ツブす
騙す

味方につける

味方はどこに？

探す？

作る！

あなたが変われば

味方づくりは自分ブランディングから

同僚に好かれる

上司に頼られる

館長に自慢される

親組織に重宝される

利用者に仲間と認められる

今日のテーマ

広報力が図書館を変えるー図書館員のためのPR実践講座

【3】コンセプトからデザインへの展開

マーケティング

世界で一番読まれているマーケティング教科書！

コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント基本編 第3版 著:フィリップ・コトラー(Philip Kotler)

ケビン・レーン・ケラー(Kevin Lane Keller)

2008年12月20日474p.価格:3,990円

ブランディング

ケラー, ケビン・レーン,, 恩藏直人監訳『戦略的ブランド・マネジメント』第3版, 東急エージェンシー, 2010.845p, 7980円(税込)

ケラーの定義

「ブランディングは精神的な構造を創り出すこと,消費者が意思決定を単純化できるように,製品・サービスについての知識を整理すること」

「ブランディングにとっての鍵は,ある製品カテゴリー内で消費者が知覚するブランド間の差異である」

CI コーポレート・アイデンティティ

・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略ーデザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.

Paos (中西元男)

MAZDA

カラー

開発フロー

訴求優先順位

基準・体系・要素デザイン

基本・応用・マニュアル化

ベーシックシステムデザイン

CIS(VIS)Tree

名刺・帳票

便箋・封筒

屋外看板

サイン

車両

広告

制服・名札

店舗

バッジ

佐藤可士和

明治学院大学

今治タオル

ユニクロ

セブンイレブン

●セブンカフェ

伊東豊雄

仙台メディアテーク

新国立競技場(案)

岐阜市立中央図書館(2015年7月18日オープン)

【4】先進事例

(1)入口で意外な特色を印象づける

・温泉暖簾

草津町立温泉図書館

<https://www.kusatsu-onsen.ne.jp/cgi-bin/public/spot.cgi?id=33&t=2&c=0>

トップページ > 観光する > 観る/資料館・美術館 > 町立図書館

野原 海明 2016年1月7日 15:16

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1067644199953754&set=a.224554587596057.75720.100001245512164&type=3&theater>

https://www.facebook.com/photo.php?fbid=513132445504263&set=a.105407132943465.14309.100004225352079&type=1&hc_location=uff

(2)飲食禁止を超える

・ラーメン屋のある図書館

館内、しかもゲート内にラーメン屋のある図書館で、珍しいのじゃないかな。

スガキヤ鶴舞中央図書館店

https://www.facebook.com/photo.php?fbid=513132445504263&set=a.105407132943465.14309.100004225352079&type=1&hc_location=uff

https://www.library.city.nagoya.jp/guide/m_tsuruma.html

鶴舞中央図書館

<https://websv.aichi-pref-library.jp/inshoku.html>

愛知県図書館

<https://websv.aichi-pref-library.jp/inshoku.html>

5階にはレストラン・自動販売機コーナー・飲食コーナーがあります。ぜひご利用ください。

スガキヤ

・ビールもOK!?

清須市立図書館(愛知県)「ビールの楽しみ方講座」

<http://current.ndl.go.jp/node/31902>

・地酒講座

宇都宮市立図書館、講座「オンリーワンの地酒を目指して」

<http://current.ndl.go.jp/node/28810>

(3)移動図書館がなければ自転車配送

宇和島市立図書館自転車課

(俗称:お届け図書館)

「海すずめ」予告編

<http://umisuzume.com/>

(4)立地は一等地を狙う

・イオンモールと組む

青森県つがる市立図書館

カフェ併設の市立図書館、青森県つがる市のイオンモールにオープンへ

The Huffington Post 2016年06月23日
http://www.huffingtonpost.jp/2016/06/23/tsugaru-aeon_n_10627038.html

・六日町駅前徒歩10mの1階、スーパーの隣！
南魚沼市図書館

<http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp/soshiki/kyouikuuiikai/shakaikyokuka/toshokan/>
<https://www.facebook.com/minamiuonuma.lib/>

リノベ物件

地元出身デザイナー

(5)空き地に神出鬼没

モバイル図書館 ソウル大公園

<http://yadokari.net/minimal-life/41173/>

ARCHIWORKSHOP

<http://inhabitat.com/tag/archiworkshop/>

(6)ネーミングライツを売る

・秋田市立図書館「ほくとライブラリー」

<「ほくとライブラリー」は、平成27年4月1日からの市立図書館5館の愛称です。>

●秋田市立図書館ネーミングライツパートナーを募集

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/mt/03-koukoku-naming%20rights.htm>

●秋田市立図書館ホームページ

<https://www.lib.city.akita.akita.jp/>

●募集要項

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/mt/namingrights%20bosyuyoko.pdf>

北都銀行

<https://www.hokutobank.co.jp/>

地域貢献活動

<https://www.hokutobank.co.jp/news/201404/main.html>

地域密着型金融の推進について

<https://www.hokutobank.co.jp/news/pdf/chiiki20111014.pdf>

(7)ホテルは図書館を活用

熱海の星野リゾート最上階に“ブックス&カフェ”が登場

04.20 07:06Fashionsnap.com

http://news.line.me/issue/odekake/3c357bf7c810?utm_source=Facebook&utm_medium=share&utm_content=app&utm_campaign=none

リゾートレ熱海 | 星野リゾート【公式】

www.hoshinoresort.com/resortandsandhotels/risonare/atami.html

(8)デパートは書店をオシャレに

・百貨店事業にあえて挑戦、TSUTAYA 流「ガンガン売れる」店づくり

増田宗昭- 弘兼憲史 PRESIDENT Online 2016年06月02日

<http://blogos.com/article/177900/>

・STORY STORY 新宿店 | カフェ×雑貨×本屋さん | 有隣堂

<http://www.yurindo.co.jp/storystory/>

(9)書店はコミュニティセンターに

京都岡崎 蔦屋書店

<http://top.tsite.jp/lifestyle/lifetrend/i/27199872/>

京都岡崎 蔦屋書店オープン

写真:島津 利雄さん

京都のみなさんお待たせ！ ついに「蔦屋書店」が京都に

OPENします

pranaria_kawaii2016年1月6日

<https://retrip.jp/articles/22081/>

<https://retrip.jp/items/11365631/>

・コミュニティサイクルのステーションに

京都市「ミナポート」

<http://www.minaport.jp/>

幕張新都心コミュニティサイクル マックル | 千葉市観光ガイド

<http://www.chibacity-ta.or.jp/about-macle>

岡山市コミュニティサイクル もちやり

<http://momochari.jp/>

金沢レンタサイクル「まちのり」

<http://www.machi-nori.jp/>

(10)学校の日曜日を活用

長野西高「司書ボランティア」募集 日曜日(こ)図書館開館を信濃毎日新聞 2016年6月3日金曜日

<http://www.shinmai.co.jp/news/nagano/20160602/KT160526FTI090005000.php>

(11)学校図書館をカフェに

●ぴっかりカフェ

神奈川県立田奈高等学校

<http://www.tana-h.pen-kanagawa.ed.jp/>

神奈川県立田奈高等学校 HP 「ぴっかりカフェ」

<http://www.tana-h.pen-kanagawa.ed.jp/career/cafe.html>

特定非営利活動法人パノラマ FB

<https://www.facebook.com/np.panorama2015/>

(12)マニアも図書館好き

秋葉原の「私設図書館カフェ」 シャツツキステ

●「好き！」を究める楽しさを メイドたちの私設図書館

文 吉川明子 写真 石野明子

朝日新聞デジタル 2016年6月9日

http://www.asahi.com/and_w/interest/SDI2016060786381.html

(13)首長に提案

『拝啓 市長さま、こんな図書館をつくりましょう』

著者 アントネッラ・アンニョリ 訳者 荳野有美

みすず書房 2016.4

<http://www.msz.co.jp/book/detail/07937.html>

【5】現場に応用する8つの極意

ブランディングの3つのレベル

商品・サービスのブランディング

組織のブランディング

スタッフの自分ブランディング

事例紹介(トサケンの場合)

図書館サービス計画研究所 略称、トサケン

Since 2006.10.14

ML 会員:全国 600名→200名

(ホームページ)<https://sites.google.com/site/tosaken23/>

トサケン自体を例題にしたブランディング

アイデンティティ

コンセプト
デザインエレメント
マーク、シンボル、ロゴ

1)まずコンセプトを固める！

ウチの図書館はどんな図書館？

戦略的視点

組織・機関・部署としての図書館
個々の図書館員の地位や雇用
職業人としてのサバイバル

ウチの図書館はどんな図書館？

自館の特徴は？

規模が小さい
蔵書が貧弱
スタッフ少ない
専門性に不安
実態リアリズム
ありのまま伝達主義

戦略的視点

組織・機関・部署としての図書館
個々の図書館員の地位や雇用
職業人としてのサバイバル

私のお気に入り

街のカフェ
近所のコンビニ
小さなパン屋さん
駅前の本屋さん

プラス面切り取り主義

規模が小さい
→ 小回りの利くキビキビしたサービス
蔵書が貧弱
→ 精選された蔵書構成
スタッフ少ない
→ 家族的な雰囲気、ボランティア歓迎！
専門性に不安
→ 共に学んで成長していく前向き図書館員

2)弱みを強みに言い換える

最寄り駅から遠く、周辺に魅力的なスポットがない。
駅から遠い。(徒歩 40 分)
死角が多い。
→ 散歩の途中に立ち寄るオトナの隠れ家

施設の老朽化

→ 歴史と伝統の落ち着いた佇まい

利用者がパソコンを使える環境がない

→ 日頃の雑事を忘れる贅沢な時間

分館に本が分散してしまっている

→ 暮らしに一番近い自分だけの書齋

3)物語を作る

トサケンのアイデンティティ

●現在のキャッチ

図書館界の知恵袋を目指す開かれたバーチャル研究所
トサケンらしさ

負けない、メゲない、
しつこい

前進あるのみ

着実な歩み。

粘り強い。

楽しい。

…となれば

象徴的なキャラクターは

カメ!!

飛ばない亀はただの亀だ！！

紅の亀

カラー

紅の赤

(燃える情熱と大人の落ち着き)

4)グッズ作ったら実際に使ってみる！

5)図書館全体のブランディングへ展開する！

CIS (VIS) Tree

6)とりあえずマネしてみることから

1)作り直す品目

名刺
サイン
封筒
利用者カード
自動車
図書館グッズ

2)見直す必要がある視覚要素

名称・用語
ロゴマーク
キャラクター
デザインコンセプト

3)連携の仕掛け

館内一丸
域内図書館連携
類縁機関連携
地域連携
異業種連携

4)推進体制

改善マインド
改善チーム

7)マネするにもスキルが必要なら研修を企画する。

8)アイデアが湧かないなら発想自体を転換する。

現場に応用する8つの極意まとめ

- 1)まずコンセプトを固める！
- 2)弱みを強みに言い換える！
- 3)物語を作る！
- 4)グッズ作ったら実際に使ってみる！

- 5)図書館全体のブランディングへ展開する！
- 6)とりあえずマネしてみることから！
- 7)マネするにもスキルが必要なら研修を企画する！
- 8)アイデアが湧かないなら発想自体を転換する！

【6】発想の転換

1) 固定観念を捨てる

発想の転換
外の世界に目を開く
異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ
弱点を逆手に取る
自虐ネタ
スベリ芸

事例

●誰も借りてくれない本 100 冊 ICU 図書館で紹介:朝日新聞デジタル

www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html

2) ダメト

どうせ無理と言わない
とりあえず交渉してみる

事例

●鎌倉幸子(シャンティ国際ボランティア会)
・MULU(みちのくライブラリアン連合)での出会い

2012.01.28-MULU 茶話会

・日産自動車で「車ください！」

・新宿区北図書館での偶然の再会

2013-07-14 図書館×広報×マーケティング

<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>

2013.8.8 ランチ@トルコ料理 ヒサル(新宿区百人町)

・鎌倉幸子『走れ！移動図書館』筑摩書房, 2014.1.

<http://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480689108/>

・『走れ！移動図書館』発売日イベント～紀伊國屋書店を封鎖せよ』2014年1月7日(火)16:30～21:30

喫茶室ルノアール ニュー新宿3丁目店

<https://www.facebook.com/events/555305001227421/>

3)何でもあり

話題を作る

日常をイベント化する

●図書館を愛してやまない人の飲み会

第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)

2013.09.27@シャンティ国際ボランティア会)

●図書館愛人協会(略称)

図書館を愛してやまない人協会

図書館を愛してやまない関根夕希子さんが伊勢に行く瞬間を見送る会

2014年7月1日 19:00 - 21:50

タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)

4)「あるもの」活用

「ないからできない」という言訳を封印

事例

里山資本主義

・『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK広島取材班 角川書

店, 2013.7.

<http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>

里山のチカラ - NHK オンライン

<http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html>

5)街へ出る

市民講座の講師を務める

図書館活用法、データベース活用法など

事例

・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)

「誰でもできる！ 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館

<http://www.ustream.tv/channel/sumitoshopartners>

<http://hikifunetoshokanpartners.jimdo.com/講座ライブ中継/>

成果のリサイクル

市民からの評価が向上

評価の声を大学内へ逆輸入

大学図書館員の学内的評価を向上

6)「できない」と言わない

変化を嫌う図書館界の悪しき伝統

マイナス面だけをあげつらう消極的の心性

事例

●新宿区立中央図書館

廃校になった中学校校舎へ移転

新館建設計画はビミョー？

Never Say Can't!

新宿区中央図書館の玄関にある標語)

<https://www.facebook.com/koi.nikami.10/posts/522106897894406>

旧中学校の玄関のまま

発想の転換 まとめ

1) 固定観念を捨てる

2) ダメト

3) 何でもあり

4) 「あるもの」活用

5) 街へ出る

6) 「できない」と言わない

7) 先進事例に学ぶ >>別紙. 先進事例集(番外編)

【7】味方づくり戦略

PR(パブリックリレーションズ)

ただの「お知らせ」ではない。

関係者を利用者に、さらに味方に変えていくこと。

世論喚起

行政側の政治的判断に影響力を持つ

利用者・支援者・後援者の結束を強化

学ぶべき教訓

味方づくりのための広報=PR 活動

常日頃から

より意識的に

より積極的に

味方づくり戦略

1)強力な味方を作る

利用者とは別

理解者
協力者
参加者
支援者
協働者

2)利用者セグメントの細分化

潜在利用者
非利用者
社会活動家
企業経営者
篤志家

役所
教育委員会
大学理事会
政治家

3)対象者の「外」を攻める

潜在利用者： 非利用原因の解明→原因の除去
社会活動家： 協働・相互支援
大学理事会： 自校教職員自慢 ライバル校事例

企業経営者： 篤志家哲学(カーネギーの例)
企業経営者： 社会貢献 ライバル企業事例
役所： 納税者 他の先進自治体

教育委員会： 自慢の種
政治家： 有権者からの圧力

4)迂回逆輸入作戦

外での評判
マスコミの話題
ネットの話題

5)図書館の大胆なイメージ革新

これが図書館なの?!
これは図書館ではない!

6)原理主義との決別

貸出中心主義
読書原理主義
文学偏愛主義
小説至上主義

7)非利用者層の掘り起こし

旧来の固定観念からの解放
出会いという本質機能に立ち返る

8)実務技能の向上

マーケティング
ブランディング

デザインング
アイデンティティ

*今後の研修テーマ候補

キャッチコピー講座
広告レイアウト講座
パブリシティ講座
ブランディングシミュレーション講座
デザイン強化合宿講座
情報検索例題作成講座
プレゼンテーション講座
スライドショー講座
アドボカシー講座

味方づくり戦略のまとめ

- 1)強力な味方を作る
- 2)利用者セグメントの細分化
- 3)対象者の「外」を攻める
- 4)迂回逆輸入作戦
- 5)図書館の大胆なイメージ革新
- 7)非利用者層の掘り起こし
- 8)実務技能の向上

プロの存在感を訴求する

【8】結論

まずできない理由を並べてしまう悪しき習性を捨てる
失敗を教訓に変えてめげずに何度でも挑戦する

ジリ貧状況を打開する

「味方を作る広報」
関係再構築

大学図書館の「本丸」

・2016.09.17(土)-MULU(みちのく図書館員連合)茶話会
「アクティブ・ラーニングの鍵はリザーブ図書制度にありー図書館による授業=学習支援の「本丸」を攻めるー」東北大学
附属図書館 グローバル学習室
→詳細は次の機会に。

とにかく一歩目

例えば名刺から
図書館の視覚的要素全般への展開
部分的・段階的に

今日のテーマ

広報力が図書館を変えるー図書館員のためのPR実践講座
ー

*質疑応答

第2部 ワークショップ： 各館の実践を支援する地域ぐるみの仕組みづくり

【1】目的

(1)アイデア出し

地域内大学図書館全体の各館の実践を支援する地域ぐる

みの仕組みづくりについて、アイデアを出す。
「できたらいいな」の夢優先(実現可能性はあとで考える)
実現の条件を整理する(環境・状況・主体)

実現を阻むネックを整理する
 ネットを超える条件を整理する(「できない」理由を後ろ向きに考えるのではなく、「できる」に変えるための方向性、取り組み内容を前向きに考え出す)

【2】仕組みづくり

上記の取り組みを開始し、発展させるために必要な地域内・県内の図書館員間の情報共有・意見交換・お悩み相談・つながり支援の仕組み・仕掛け・ツール等を誰がいつまでにどう行動するかを詰めて具体的な作業工程表にまとめる。

【2】アイデア出しの4条件

現場を鼓舞し支援しあう互恵協働型の仕組み
 図書館員各自が動き出せる仕組み
 同僚・上層部を動かす説得力
 できれば
 図書館員の専門性の認知度を格段に向上させる
 図書館非来館層に届くメッセージ性

【3】提案内容項目(例)

- ・グループ番号
- ・グループ名
- ・グループメンバー
- ・プロジェクト名
- ・目的
- ・数値目標
- ・取り組み内容
- ・取り組み体制・予算など
- ・期待される効果
- ・作業工程表
- ・要検討事項 など

【4】グループ構成

(1)グループ基本構成

- ①25名: 5グループ(5名×5G)
- ②各グループに進行役1名、記録役1名
- ③グループ分けと席指定、進行、記録係を事前に運営側で設定(日ごろ対話の少ない同士で組み合わせ)
- ④各グループのテーブルに、A4判白紙とカラーサインペンとマーカーを配置しておく

【5】時間割 15:00~16:30(90分)

- 14:50~15:00 休憩
 休憩後グループで着席
 15:00~15:07 自己紹介(7.5分)
 15:07~15:40 討論・発表準備(33分)
 15:40~16:10 発表・討論(30分)
 16:10~16:20 全体討論・講評(10分)
 16:20~16:30 参加者アンケート
 16:30~16:35 閉会

【6】作業要領

- (1)グループワーク(1):自己紹介(7.5分)
 名刺交換・自己紹介・事前課題感想
 *1人1分30秒×5名
- (2)グループワーク(2):ブレインストーミング(23分)
- (3)グループワーク(3):スライド作成:(10分)
- (4)グループ発表:(30分)
 *1グループ5分(プレゼン3分+質疑2分)×5G(25分)
- (5)全体討論・講評(10分)

【7】プレゼン要領

- 1)A4判白紙に手書き
- 2)できた用紙を書画カメラ(OHC)でスクリーンに投影
- 3)全員登壇、全員発言
- 4)質疑応答で発言者を指名
 OHC不調の場合
 各グループでデジカメ撮影、事務局に添付送信(またはクラウド保存)、USBメモリに保存、投影用PCにコピー。

【8】投票要領

- 1)挙手
- 2)目視計算
- 3)集計

【9】表彰

- 1)賞品は名誉
- 2)拍手

第3部 まとめ

【1】発表総括

コミュニケーションツールの改善に向けて
 考え方
 姿勢
 知識・技能
 組織・体制

◎資料の共有と活用

(1)スライド原稿のデジタル化

- ・スキャンまたはデジカメ撮影

(2)スライド原稿の共有・活用

- ・ファイル共有システム上で共有
- ・職場での報告に活用
- ・サービス改善の企画資料に

【2】研修を考え直す

やりっぱなし研修からの脱却を!
 →PDCAサイクル型応用実践重視研修

今回はきっかけ
 各自の応用実践はここからスタート!

1)自己研鑽の方法改善

孤立して悩む→情報共有・相互支援
 自己流で行き詰まり→蔵書の実用書活用

2)各種メーリングリストの活用

非公式自発的任意グループ
 個人アドレス
 参加・退会自由
 飲み会から勉強会・研究会へ
 イベントごとに輪の拡張

【3】結論

地域社会に認知されるには
 発想の転換
 斬新なアイデア
 大胆な提案

次の取り組み

- 1)地域全体での改善プロジェクトの開始に向けて
- 2)テーマ別改善プロジェクトチームの立ち上げ
- 3)年次活動計画案への落とし込み
- 4)業務計画の提案・承認
- 5)フォローアッププログラムの随時実施
- 6)改善成果報告会(1年後)

今日のテーマ

広報力が図書館を変えるー図書館員のためのPR実践講座ー

今日のキーワード

外
固定観念
発想転換
関係再構築

大事な補足

直後に高まった意欲
半減期1カ月で減衰

*おみやげ(ALAしおり)

<http://www.alastore.ala.org/>
<http://www.alastore.ala.org/alagraphics/>
http://www.alastore.ala.org/pdf/ALA_Graphics_Catalog.pdf

*ご案内

1)仁上新刊のご案内

・仁上幸治『図書館員のためのPR実践講座ー味方づくり戦略入門ー』樹村房, 2014.10.
http://www.jusonbo.co.jp/kikan_shosai/01/kikan_shosai_01_49.html

予約

- 1.購入希望(サイン入り)5
- 3.購入済み持参サイン希望 4
- 4.購入しない 6
- 5.講演を聞いてから検討 7

■別紙1. 事前課題アンケート結果

◆事前課題アンケート

●公立大学図書館協議会中国四国地区協議会研修会(松山)-事前課題アンケート
<http://goo.gl/forms/nb6HL75vG7pwTbfx1>

今回の研修会の準備のため、下記の事前アンケートにご回答ください。ご協力をお願いいたします。

■回答締切:2016年9月30日(金) 回答数23名

出席者25名

回答率=23/25=92%

館長1 職員(専任)13 職員(非正規)8 委託スタッフ1

課題論文

仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化しているか?ー説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践ー」

『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24.CA1728:

2)インターネット受講の活用

講演ウェブ配信のご案内

2016.10.22(土)-12.10(土)-八洲学園大学公開講座「図書館PR実践講座ー味方づくり戦略入門ー」

(来校・インターネット配信・オンデマンド配信) 土曜日

13:00-14:30(90分)全4回 10月22日・11月12日・11月26日・12月10日 [詳細案内]

<http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/news/2016/09/pr.html>

<http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/course/2016/08/post-466.html>

<http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/news/files/librarypr.pdf>

3)ファシリテーション体験型ワークショップ

図書館パートナーズ

<http://libraryfacilitator.com/about/>

ライブラリー・ファシリテーター講座

<http://libraryfacilitator.com/course/>

フォローアッププログラム

「やりっぱなし研修」に終わる

主催者側・参加者側双方の条件

1, 3, 6カ月後に応用実践状況報告

1年後に成果発表会

実践あるのみ!!

■別紙1. 事前課題アンケート結果付録

■1:参考文献

■2:参考サイト

■3:講師紹介: 著書・論文・講演

*仁上新刊のサイン会

主催者まとめ・挨拶・閉会

参加者アンケート

おみやげ(ALAブックマーク)

情報交流会(希望者)

[全文]HTML版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>

PDF版: <http://current.ndl.go.jp/files/ca/ca1728.pdf>

以下の記述抜粋はスライド中で紹介。

回答全データは主催者保管→編集・共有・公開

2-1. 図書館と図書館員の存在感を利用者に印象づけるための総合的な政策としてブランディング活動を積極的に進めている。

ブランディング積極度

5点満点の点数ごとに分類済。

4-8.ブランディング推進のネックは何だと思いますか?

3点

◎周囲の協力

◎職員の共有認識

◎上司の理解

- ◎人材不足
- ◎予算
- ◎爆発力

2点

- ◎学内他組織への情報発信力
- ◎図書館職員の意識改革

1点

- ◎組織の支援(協力体制)
- ◎企画力、時間、費用
- ◎周りからも思われていない
- ◎図書館職員の総合的・専門的能力、プレゼンテーション力
- ◎職員同士の図書館に対する意識の統一

N/A

- ◎サービスを維持するための人の育成
- ◎アイデアと経費

6-3.上記の論文についての感想など。

3点

- ◎「広報」の意義を再認識
- ◎研究文献のレビューを定期的に掲載して
- ◎PRの仕方を知りたい
- ◎広報のむずかしさを実感

2点

- ◎様々な実践事例報告を参考に
- ◎積極的に勉強をしてこなかった
- ◎勉強不足を痛感

1点

- ◎注の参考文献を自館に取り入れたい
- ◎図書館総体としてのPRが必要
- ◎定義を再確認
- ◎TV番組や映画の図書館のシーンの活用

N/A

- ◎戦略的PR実現したい

6-4.「広報」関連で、現在の仕事について、自慢できる点、困っていること、ぶつかっている壁、今後の取り組み計画など。

3点

- ◎配布物に対する効果的な声掛けを知りたい
- ◎広報誌は読みやすいことが自慢
- ◎映画やイベントとタイアップした企画展示がマスコミに取り

上げられていない

- ◎広報に携わっていないのでわからない。
- ◎掲示版地図による出身地調査で成果
- ◎普段利用しない層が課題

2点

- ◎市民に周知がうまくできていない
- ◎新図書館でのオリエンの方法を学びたい
- ◎ワンパターンになってしまっている
- ◎もっとターゲットを絞る
- ◎業務の優先順位で後回し

1点

- ◎図書館活用法について良い方法が思いつかない
- ◎イベントのネーミング、ポスター配布先に苦心
- ◎指導サービス専門家としてのスキル不足
- ◎日常の業務に追われ
- ◎業務の多忙さを言い訳に

N/A

- ◎プロとしての学内幹部の理解

6-5.事前課題についての感想、疑問、研修に期待することなどなんでもご自由に。アンケートの設問と回答選択肢についての改良案も歓迎です。

3点

- ◎更なる広報力を得られることを期待
- ◎映画「海すずめ」についてもぜひ語りたい
- ◎設問が多い
- ◎図書館の広報に関する研修は受けたことがない
- ◎もっと印象に残る広報の力を得たい

2点

- ◎他の大学図書館がどんな広報活動をされているのか聞けたら
- ◎視野を広げ、実際の業務に活かしたい

1点

- ◎知識も少なく経験もありません
- ◎成功具体例を多く知りたい
- ◎事前課題とアンケートのおかげで研修前にテーマについて考えることができとても良かった。アンケート内にあった図書については、自館所蔵書籍に全て目を通せた

N/A

- ◎勉強不足が心配
- ◎専任職員数が少なくジェネラリストの図書館職員をどうするか

■付録1. 参考文献

●図書館利用教育ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシ

—教育の実践—すべての図書館で利用教育を—(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

・日本図書館協会図書館利用教育委員会『問いをつくるパイプラー—考えることから探究学習をはじめよう!』日本図書館協会, 2011.9.

●オリエンテーション・講習会

・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法:印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図

書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.

・仁上幸治「オリエンはエンタメだ！ー素敵印象を伝えるプレゼンテーションをー」『学図研ニュース』No.229,2005.3.1(特集オリエンテーション)pp.2-5.

・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けてー研究室知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試みー」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]

・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)ー素材を集め、問題を作り、要点を説明する方法ー」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3, pp.88-108.

●広報・PR

・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.

・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90. [全文]

・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開をめざしてー』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381

・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.

・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいか(中級編)ーレイアウト改善の5つのポイントー」『館灯』47,2009.3.31, pp.124-129.

・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に！ー少人数職場ならではの即効変身術ー」『短期大学図書館研究』No.29 (2009), pp.49-53.

・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)

・仁上幸治「これからの「PR」の話をしようーいまを生き延びるための図書館経営学ー」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)

・仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座一味方づくり戦略入門ー』樹村房(★2014年10月30日刊行)

●広告

・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ!読本』宣伝会議,2007.

・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.

・デンソウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通, 2007.3

・姫路市立美術館,凸版印刷株式会社印刷博物館編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界:印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会, 2007.7

・眞木準『胸からジャック。:心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7

・オプスキュアインク『レイアウトデザインのルール:目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2

・堀内敬一『売れる!チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6

●CIとブランディング

・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部. 2010.

・菅谷明子『未来をつくる図書館:ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735円

・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略ーデザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.

・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿るー「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略ー」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.

●サイン計画

・ドロシー・ボレット,ピーター・C.ハスキル編;木原祐輔,大橋紀子訳『図書館のサイン計画:理論と実際』東京:木原正三堂, 1981.9

・『建築設計資料集成, 10: 技術』丸善,1983, p119-140.

・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治共著「新図書館とサインシ

ステム計画ーUIによるデザイン統合システムの開発をめざしてー」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90.

・植松貞夫「大学図書館の建築と設備」1997
https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/tojo/archive/Choken/1997/choken1_8.html

●プレゼンテーション

・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門ープレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995

・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)

・諏訪邦夫『発表の技法ー計画の立て方からパソコン利用法まで』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.

・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.

・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術ー意図を正しく伝えるための16のルールー』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)

・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術ー最強のプレゼンテーション15のルールー』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)

・ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBSブリタニカ, 1993. ¥1300.

・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)

・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10ー話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10

・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

●指導演

・岡本浩一『上達の法則ー効率のよい努力を科学する』PHP研究所, 2002.5 (PHP 新書) ¥714

・多和田悟『犬と話をつけるには一駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)

・中野民夫『ワークショップー新しい学びと創造の場ー』岩波書店, 2003.04 (岩波新書)

・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿ーあの失敗から何を学ぶか』小学館, 2006.4, ¥1300

・吉田新一郎『効果10倍の<教える>技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所,2006(PHP新書)

●『情報の達人』の歴史

・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.

・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-556.

・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで』『館灯』41, 2003.3, p.39-52.

・仁上幸治『『図書館の達人』から『情報の達人』へー利用者教育映像教材の進化 15年の集大成』『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.

・『情報の達人』ホームページ: <http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

●図書館長の仕事

・『ある図書館長の一日: 市町村立図書館経営の実際』紀伊國屋書店, 1998: (27分): VHS (図書館の達人; 司書実務編 pt.3; 7).

・ちばおさむ『図書館長の仕事: 「本のある広場」をつくった図書館長の実践記』日本図書館協会, 2008 (JLA 図書館実践シリーズ; 10).

・花井 裕一郎『はなぼん わくわく演出マネジメント』文屋, 2013.1.

・内野安彦『図書館はラビリンスーだから図書館めぐりはやめられないpart2』樹村房, 2012.11.

・内野安彦『だから図書館めぐりはやめられないー元塩尻市立図書館長のアンソロジー』ほおずき書籍, 2012.6.

・内野安彦『図書館長論の試みー実践からの序説』樹村房, 2014.5.

・内野安彦『塩尻の新図書館を創った人たちーわれら図書館応援団』ほおずき書籍, 2014.8.

●図書館グッズ

- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成 21 年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!ー暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器ー」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手: 鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す「魔法」の戦略ツールー図書館グッズの研究・開発・普及活動ー」

『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●最新図書館事情

- ・岡本 真/森 旭彦『未来の図書館、はじめませんか?』青弓社, 2014.11
- ・まちライブラリー・マイクロ・ライブラリー・サミット実行委員会 2014 編『マイクロ・ライブラリーー人とまちをつなぐ小さな図書館』学芸出版社, 2015.5 ★他多数

■付録 2. 参考サイト

【1】広告

- ・京都広告塾 編『巧告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

【2】広告アーカイブ

- ・新聞広告データアーカイブ:
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画 NOW!! CM 企業 一覧:
<http://www.doga-now.com/company/>
- ・宣伝会議:
<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIR:
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP*POP 広告・マーケティング カテゴリー:
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

【3】デザイン

- ・服部デザイン研究所:「THE Know-How」レイアウト能力:
http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html
- ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office:
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>
- ・グラフィックデザイン:
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>
- ・MdN: <http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> または <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>
- ・グラフィックデザイン:
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

【4】編集

- ・松岡正剛事務所 セイゴオちゃんねる:
<http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>

- ・編集工学研究所: <http://www.eel.co.jp/>
- ・インシ編集学校: <http://es.isis.ne.jp/>
- ・松丸本舗: <http://www.matsumaru-hompo.jp/>
- ・松岡正剛の千夜千冊: <http://1000ya.isis.ne.jp/>

【5】CIとブランディング

- ・パオス: <http://www.paos.net/>
- ・佐藤可士和: <http://kashiwasato.com/>

【6】編集・広告の学校

- ・編集の学校/文章の学校: <http://www.editorschool.jp/>
- ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題:
<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>
- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>
- ・宣伝会議の教育講座:
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>

【7】オフィスソフトを自習する

- Microsoft atLife
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/>
- TIPS(使い方ガイド)
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/>
- Office (オフィス) の活用方法と Tips をご紹介
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/office.aspx>
- Word
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/word.aspx>
- Excel
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/excel.aspx>
- PowerPoint
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/powerpoint.aspx>

【8】プレゼンテーションの方法を学ぶ

- ・Presentation.jp (プレゼンテーション総合サイト):
<http://www.presentation.jp/index.html>
- ・資料作成:
http://www.presentation.id/orio/knowhow/sirvou/traop_dnt.html
- ・高橋メソッド: <http://www.rubycolor.org/takahashi/>

■ 2. 講師紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学・和光大学・玉川大学)

◎電子メール: nikamikoji@yahoo.co.jp

講演生涯合計 223 本(2016.9.23 現在) ◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>

◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン): <https://sites.google.com/site/tosaken23/>

◎教材開発: ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

◎著書

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドラインー図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開をめざしてー』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381
- ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房, 2002.10(新図書館学シリーズ第8巻), ¥1900

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)
- ・大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門ー大学生のための必須学習術ー』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p. ¥1900.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3

・仁上幸治『図書館員のためのPR実践講座一味方づくり戦略入門』樹村房, 2014.10.

◎最近の論文 *多くは著者ホームページで全文公開

- ・[研究文献レビュー]「図書館の「広報」は進化しているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24 [CA1728] HTML版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>
- ・「情報リテラシー底上げ奮戦記—自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導—」『帝京大学総合教育センター論集』(2), 2011.3, pp.83-105.
- ・「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成〜日本版ガイドラインの作成過程を中心に〜」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5.14), pp.91-94.
- ・「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試み—スライドショー, 映像教材, ファイル配布・提出, アンケートの各システムを使い切る—」『帝京大学情報処理センター年報』(13), 2011.3.31, pp.77-91. (実刊行日: 2011.7.25)
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程〜情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界〜」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11.12), pp.53-56.
- ・「学校図書館のブランディング戦略—評価されるためにギリギリまで工夫を!—」『学図研ニュース』No.326, 2013.4.1, pp.2-6.
- ・「図書館長のための自分ブランディング講座—内外に味方を増やすキャラクターの作り方—」全国公共図書館協議会研究集会講演録(2013.06.28-東京都立中央図書館)
- ・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するか—教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言—」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.
- ・「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座—省力効果絶大な便利技をマスターしよう!—」『短期大学図書館研究』33, 2014.3, pp.107-122. (CD-ROM版あり) (2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)
- ・「情報メディアは作ってみればわかる—メディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫—」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26刊行), pp.95-109.
- ・「驚くほど学生が集まる図書館演術—少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデア—」『私立大学図書館協会中国・四国地区研究会報告書』第44回(2014年), pp.4-78.
- ・「指導場面での演出力はこれでいいか—教える側の情報リテラシーを問いただす—」『館灯』53号, 47-65, 2015-03-31
- ・「ひとり職場の有利さを活かす: 決断と実行は自分しだい」『日赤図書館雑誌』22(1), 2016.3. 10-17. (講演: 2015.07.25, 日赤図書室協議会研修会、日赤会館) [報告] [日赤図書室協議会研修会日赤図書館雑誌] [日赤図書館雑誌 22巻(2015)] [赤十字リポジトリ全文]
- ・「生き残りたい図書館員は味方を増やす—情報リテラシー教育への直接貢献を核とするブランディング戦略—」『北海

道地区大学図書館職員研究集会記録 第58回』北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会編, 北海道地区大学図書館協議会, 2016.4, pp.3-62. [講演: 2015.08.07, 小樽商科大学(北海道小樽市)]

・「通信教育における図書館司書課程カリキュラムの問題点と改善案—情報サービス演習科目受講生の声にもとづく授業改善に向けて—」『玉川大学教育学部紀要』2015, 2016.3, pp.171-194.

◎講演(2015.7-)

- 13) 2015.07.25-日赤図書室協議会研修会「ひとり職場の有利さを活かす: 決断と実行は自分しだい」日赤会館(東京都港区) [報告]
- 14) 2015.07.29-神奈川県学校図書館経営論研修講座「学校司書のためのブランディング講座(発展・実践編)〜専門職サバイバルのための地域連携作戦の立案と実行〜」神奈川県立神奈川総合産業高等学校 視聴覚室(神奈川県相模原市) [報告]
- 15) 2015.08.07-北海道地区大学図書館職員研究集会「生き残りたい図書館員は味方を増やす—情報リテラシー教育への直接貢献を核とするブランディング戦略—」小樽商科大学(北海道小樽市) [報告]
- 16) 2015.08.08-私立短期大学図書館協会北海道地区協議会研修会「図書館をPRする〜双方向性コミュニケーションの関係づくり実践法〜」北海道武蔵女子短期大学(札幌市)
- 17) 2015.08.08-『図書館員のためのPR実践講座』出版記念会 8 in 札幌 & 情報交換会 北海道武蔵女子短期大学(札幌市)
- 18) 2015.08.19-世田谷区立図書館館長研修「「らしさ」を訴求するPR—図書館を核とする地域ぐるみの区民関係再構築—」世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区) 世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)
- 19) 2015.08.24-福岡県立図書館青少年読書推進講座「子どもたちの居場所になる図書館をつくる〜どう図書館をPRしていくか〜」福岡県立図書館(福岡県福岡市) [報告]
- 20) 2015.08.26-西日本図書館学会長崎県支部研修会「図書館ブランディング入門講座」長崎市立図書館 新興善ホール 洋会議室(長崎県長崎市)
- 21) 2015.09.04-私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会研究会「今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う」大学図書館職員の栄光と苦悩—内面を支える秘かな愉しみ—」梅花女子大学山草館(F棟)601教室(大阪府茨木市)
- 22) 2015.09.29-図書館パートナーズ「図書館員のためのファシリテーション実践講座: PR編」日比谷図書文化館(東京都千代田区)
- 23) 2015.10.02-長野県立高校学校司書研修会「高校司書のためのPR実践講座—魅力訴求作戦の全面展開に向けて—」長野県県庁講堂(長野県長野市)
- 24) 2015.10.03-長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会 研修会「ビジュアルデザインの質を上げる」講演「図書館員のためのPR実践講座—情報は見た目が9割—」県立長野図書館 会議室(長野県長野市) [案内]
- 25) 2015.11.02a-九州女子大学授業(矢崎美香先生)ゲスト講演 1「情報資源組織演習II」(北九州市)
- 26) 2015.11.02b-九州女子大学授業(矢崎美香先生)ゲスト講演 2「情報サービス論」(福岡県北九州市)
- 27) 2015.11.02c-日本施設協会・図書館流通センター共同企業体 図書館ブランディング実践研修「図書館のブランデ

イングの応用実践に向けて～成功と失敗の分かれ道を知る～」北九州市立八幡西図書館 1階 セミナールーム(福岡県北九州市)

28) 2015.11.03-大学図書館問題研究会 福岡支部「プチマイブランディング披露!+ 教えて仁上さん-「映像の中のトンデモ図書館員たち」を見てブランディングを考える-」佐賀大学附属図書館(本庄キャンパス)(佐賀県佐賀市)

29) 2015.11.09-静岡県図書館大会「図書館サービス」分科会「図書館の魅力を上手に伝える-PR(パブリックリレーションズ)による味方づくり戦略入門-」静岡県コンベンションアーツセンター“グランシップ”(静岡県静岡市)

30) 2015.11.10(火) 10:00-11:30-図書館総合展フォーラム日経 BP「利用が増える!学生が伸びる!大学図書館のPR術&成果につながる図書館リソースの活用事例-学修・就活支援と情報リテラシーの向上につながる専門記事データベースの活用-」パシフィコ横浜フォーラム第5会場(アネックス205)(神奈川県横浜市)

31) 2015.11.12(木) 10:00-11:30-図書館総合展フォーラム図書館パートナーズ「図書館員のためのファシリテーション実践講座-市民の図書館認知度を格段に上げる手法-」パシフィコ横浜フォーラム第1会場(アネックスホール201)(神奈川県横浜市)

32) 2015.11.20-TRC スタッフ研修2「「打って出る広報」が図書館を救う!-ジリ貧状況を打開する関係再構築の方法-」TRC本社(東京都文京区)

33) 2015.11.26-文部科学省 図書館地区別研修(北日本地区)「図書館ブランディング入門-逆風の中で存在感を高める地域内連携作戦づくり-」主催:北海道立図書館、会場:札幌市中央図書館(北海道札幌市)

34) 2015.11.27-北海道大学図書館職員研修「授業支援の「本丸」攻めに向けて-リザーブ図書制度の本格実施を-」北海道大学図書館(北海道札幌市)(テーマ「これからの授業支援の話をしよう」北海道大学図書館(北海道札幌市))

35) 2015.12.17-世田谷区立梅丘図書館改築基本構想策定委員会 講話「新館構想は発想の転換から-固定観念を捨てれば10年先が見える-」世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)

2016年

1) 2016.01.13-千葉県公共図書館協会「図書館のPR実践講座-ホームページを改善する-」浦安市立中央図書館(千葉県浦安市)

2) 2016.01.15-世田谷区立梅丘図書館改築基本構想策定委員会(2)「梅丘図書館機能検討ワークショップ」問題提起「固定観念を捨てる-区民自慢の図書館をつくるには-」梅丘パークホール(東京都世田谷区)

3) 2016.01.21a-文部科学省 図書館地区別研修(近畿地区)「図書館ブランディング入門-味方を増やす地域戦略-」兵庫県立図書館(兵庫県明石市)

4) 2016.01.21b-【KLL】仁上幸治さんと語る交流会「映像の中のトンデモ図書館員たち Part2(アニメ・CM編)」Biz Library(ビズライブラリー)(大阪駅前)[案内・報告]

5) 2016.02.15-川崎市立図書館研修「図書館サイン計画改善実践講座-PR視点による誘導・説明・イメージ伝達の効果的な方法-」川崎市立宮前図書館(神奈川県川崎市)

6) 2016.02.26-長岡市立図書館職員研修「パスファインダー超簡単講座」長岡市立図書館(新潟県長岡市)[案内][報告]

7) 2016.03.16(水)-福井県公共図書館職員専門講座「図書館ブランディング入門-地域内認知度を高める広報戦略-」福井県立図書館研修室(福井県福井市)[報告・資料]

8) 2016.04.09(土)-コンセプト・バンク(CB)非常勤講師養成講座 #1「非常勤講師への道(講師になるための技術と方法)」多摩大学・九段サテライト(東京都千代田区)[案内][報告1][報告2][報告3]

9) 2016.04.19(火)-多摩大学アクティブ・ラーニング支援委員会教職員勉強会「アクティブ・ラーニングを支えるリザーブ図書制度-図書館による学習支援の「本丸」を攻める-」多摩大学多摩キャンパス役員室(東京都多摩市)[報告]

10) 2016.05.30(月)-図書館サービス計画研究所広島グループ有志「仁上幸治さんを肴に集う会 in 広島〜番外編講座もあるでよ〜(トサケン創立10周年記念セミナー)「映像の中のトンデモ図書館員たち-図書館ブランディング講座番外編」sketch#01(広島県広島市)

11) 2016.05.31(火)-広島市立中央図書館 図書館司書研修(特別研修)「図書館ビジュアルデザイン原論-コミュニケーションツールを作りなおす-」広島市立中央図書館(広島県広島市)

12) 2016.06.17(金)-秋田県図書館大会基調講演「図書館PR戦略入門-逆風の中で味方を増やす地域内関係再構築-」秋田県生涯学習センター講堂(秋田県秋田市)

13) 2016.06.28(火)-自分史活用アドバイザー勉強会「自分史・社史づくりのための図書館活用術-もっと使える最新データベース-挙紹介-」新宿区消費生活センター分室(東京都新宿区)

14) 2016.07.04(月)-大分県公立図書館職員研修「図書館員のためのPR講座」日出町立図書館(大分県速見郡日出町)

15) 2016.08.04(木)-06(土)[泊3日]-図書館サービス計画研究所主催「図書館デザインフェスタ in 山中湖」基調講演「図書館ビジュアルデザイン原論」山中湖情報創造館(山梨県南都留郡山中湖村)

16) 2016.09.09(金)-徳島県公共図書館協議会研修会「図書館員のためのPR実践講座-逆風の中で味方を増やすコツ-」(講義と実習)徳島県立図書館(徳島県徳島市)

17) 2016.09.16(金)-宮城県高等学校図書館研究会研修会「学校司書のためのPR実践講座-魅力訴求作戦の全面展開に向けて-」(講義と実習)宮城県図書館・ホール養賢堂(宮城県仙台市)

18) 2016.09.17(土)-MULU(みちのく図書館員連合)茶話会「アクティブ・ラーニングの鍵はリザーブ図書制度にあり-図書館による授業=学習支援の「本丸」を攻める-」東北大学附属図書館 グローバル学習室

19) 2016.09.23(金)ライブラリー・ファシリテーター同窓会認定講座特別ワークショップ、「CM動画制作超簡単講座-ウェブ公開講座の受講者募集のための実習-」曳舟図書館会議室(東京都墨田区)

*講演予定(一部未定)

20) 2016.10.07(金)-公立大学図書館協議会中国四国地区協議会研修会「広報力が図書館を変える-図書館員のためのPR実践講座-」愛媛大学図書館中央図書館 4階 視聴覚室(愛媛県松山市)

21) 2016.10.08(土)-図サ研・広島+図書館何でも勉強会「図書館を活用してもらうために図書館がすべきこと-サービス対象者への利用・情報リテラシー教育-」広島市立中央図書館 3階 セミナー室(広島県広島市)

22-25) 2016.10.22(土)-12.10(土)-八洲学園大学公開講座「図書館PR実践講座-味方づくり戦略入門-」(来校・インターネット配信・オンデマンド配信) 土曜日 13:00-14:30(90分)全4回 10月22日・11月12日・11

月 26 日・12 月 10 日

[詳細案内] [CM 動画]

<http://www.yashima.ac.jp/univ/extension/course/2016/08/post-466.html>

26) 2016.11.05(土)-紀伊國屋書店・日本アспектコア 業務スタッフ研修「(内容未定)」紀伊國屋書店本社(東京都目黒区)

27) 2016.11.07(月)-静岡県図書館大会「ホームページ改善」(未定)静岡県コンベンションアーツセンター“グランシップ”(静岡県静岡市)

28) 2016.11.08(火)-図書館総合展 2016 フォーラム 図書館パートナーズ(図書館サービス計画研究所共催)「ライブラリー・ファシリテーター体験講座-図書館の未来はビジネススキルが切り開く-」パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)

29) 2016.11.24(木)-群馬県図書館大会第2分科会「図書館の魅力と可能性を伝える-図書館員のためのPR実践講座-」講演と演習「図書館員のための PR 実践講座~図書館の魅力と可能性を伝えるためにこ~」前橋商工会議所アイビー(群馬県前橋市)

30) 2016.11.30(水)-文部科学省 図書館地区別研修(関東・甲信越静地区)「(内容未定)」(千葉県千葉市)(調整中)

31) 2016.12.01(木)-文部科学省 図書館地区別研修(東海北陸地区)「(内容未定)」(愛知県名古屋市)(調整中)

32) 2016.12.03(土)-図書館サービス計画研究所名古屋「トサケン創立 10 周年記念セミナー」「映像の中のトシデモ図書館員たち-図書館ブランディング講座番外編-」(詳細未定)(会場未定)(愛知県名古屋市)(調整中)

33) 2017.01.27(金)-豊中市立図書館職員研修(大阪府豊中市)(調整中)

34) 2017.01.28(土)-トサケン創立 10 周年記念セミナーin 大阪(調整中)

35) 2018.01.15(月)-岡山県立図書館 図書館職員等研修講座(調整中)

★仁上幸治ホームページにて全文・資料等公開中。

<https://sites.google.com/site/nikamik23/lectures>

(にかみ・こうじ/配付資料/2016.10.6 作成) ■□■